

事項	ハイブリッド系ユリの抑制栽培（9～10月出荷）における適品種					
ねらい	ハイブリッド系ユリの9～10月出荷の抑制栽培に適する品種が明らかになったので参考に供する。					
指導 参考 内容 容	1 適応品種の特性					
	花色	品 種 名	プレルーティング 処 理	植え付け 時 期	到花日数 (日)	障 害 花 発生状況
	白	カサブランカ	不必要	7月下旬 ～ 8月上旬	77～80	障害なし
		アウバデ	必 要		81	障害なし
	ピンク	マルコポーロ	不必要		77	ブラインド少
		ロイヤルクラス	不必要		93	障害なし
		マシェリ	必 要		70	ブラインド少
	赤	スターゲザー	必 要		63	奇形花少
		トレロ	必 要		55	奇形花少
	2 留意事項					
(1) プレルーティング処理は凍結球根入手後、球根を湿ったピートモスで包み、13℃の冷蔵庫内で3週間暗黒条件下に置き、上根の発生を促す。						
(2) プレルーティング処理の有無に係わらず、出庫してから1日は外気温に順化させて植え付ける。						
期待される効果	9～10月出荷抑制栽培におけるオリエンタルハイブリッドユリの適品種の選定と作付け拡大					
利用上の注意事項	1 施設を利用する。 2 栽培が高温期に当たるため50%程度の遮光が必要である。 3 プレルーティング処理の温度、期間によっては奇形花、葉やけ、ブラインド等の発生程度が若干変わる。					
担 当	フラワーセンター21あおもり 栽培開発部	対 象 地 域		県下全域		
発 表 文 献 等	平成9、10年度 フラワーセンター21あおもり試験成績概要集					

【根拠となった主要な試験結果】

表1 ハイブリッド系ユリの抑制栽培における切り花品質 (平成9年 フラワーセあおもり)

品 種 名	切り花 時期 (月/日)	到花 日数 (日)	切り 花長 (cm)	葉数 (枚)	花蕾 数 (個)	切り 花重 (g)	奇形花 発生株 (%)	ブライ ンド率 (%)	葉焼け 発生株 (%)	有 望度	備 考
○カサブランカ	10/8	77	103.1	44.6	4.1	149.0	0	0	0	—	
ダンブランシェ	9/12	51	75.2	42.7	4.3	83.1	0	0	0	△	開花早い
シベリア	10/11	79	81.5	36.8	4.8	114.5	0	0	0	△	障害なしボリューム少
○マルコポーロ	10/8	77	102.9	61.1	5.5	131.5	2.5	38.9	0	○	草姿、花色良
○ロイヤルクラス	10/24	93	83.6	47.9	5.3	148.4	0	0	0	○	茎 硬く、花色良
ルレーブ	9/13	52	67.7	50.9	2.8	64.7	46.2	84.6	0	×	奇形花、ブラインド多
ワルシャワ	9/26	65	95.0	55.1	6.2	127.3	0	0	0	△	輪数多、茎軟弱
スターゲザー	10/4	73	73.1	29.4	4.9	91.5	18.8	0	39.6	△	葉焼け発生
アカプルコ	9/26	65	99.0	34.0	3.2	91.7	38.2	80.9	100.0	×	奇形花、葉焼け多
ティバー	10/15	83	65.2	51.3	2.9	74.1	7.7	38.5	84.6	×	奇形花、葉焼け多

注) 品種名の○印は適品種
有望度：ボリューム、障害の発生程度、商品性を考慮し、三段階 (○：適、△：やや適、×不適) 評価

耕種概要 (平成9年)

- 栽培環境：ガラス温室 (網室)
- 供試球根：購入球根 (種苗会社から凍結球を購入)
- 定植月日：7月23日
- 栽植様式：畦幅110cm、株間15cm (中央30cm)、6条植え
- 遮光方法：定植から9月12日まで遮光 (50%) した。
- 施肥量 (kg/a)：堆肥450、ようりん25、過磷酸石灰25 (N:P₂O₅:K₂O=1.2:1.2:1.2)

表2 ハイブリッド系ユリの抑制栽培におけるプレルーティング処理の効果 (平成10年 フラワーセあおもり)

品 種 名	プレルー ティング 処 理	切り花 時 期 (月日)	到 花 日 数 (日)	切 り 花 長 (cm)	葉 数 (枚)	茎 径 (mm)	花蕾数 (個)	切 り 花 重 (g)	奇形花 発生株 (%)	ブライ ンド率 (%)	葉焼け 発生率 (%)
○カサブランカ	有	10/12	68	115.9	50.2	6.8	4.2	170.3	0	0	0
	無	10/25	80	109.3	52.4	7.1	4.5	172.8	0	0	0
シベリア	有	10/16	72	96.2	51.5	7.1	5.2	134.8	26.2	28.6	0
	無	11/6	93	91.2	50.3	6.9	5.5	123.7	35.7	35.7	0
○アウバデ	有	10/9	65	78.1	53.0	5.9	4.4	100.9	0	0	0
	無	10/25	81	64.4	53.0	5.9	4.4	92.5	0	0	0
ルレーブ	有	9/19	45	81.0	54.1	5.3	4.6	85.2	2.5	25.0	0
	無	9/24	50	74.4	55.4	5.0	5.3	78.0	3.3	26.7	0
○マシェリ	有	10/14	70	114.3	67.1	6.2	4.9	113.3	0	10.0	0
	無	10/25	83	113.3	69.4	6.3	5.8	111.1	0	37.0	0
ネッチューノ	有	10/12	69	98.9	38.1	6.4	4.0	109.1	7.9	2.6	0
	無	10/25	83	97.1	39.5	6.5	4.0	115.3	21.4	3.6	0
アカプルコ	有	9/30	55	108.2	37.9	6.7	4.4	118.9	3.2	3.2	54.8
	無	10/10	66	108.1	40.9	6.9	4.7	119.1	31.6	21.1	94.7
○スターゲザー	有	10/7	63	70.9	28.7	6.2	3.7	91.3	4.3	0	0
	無	10/18	73	70.7	31.5	6.4	4.0	87.0	6.7	0	40.0
○トレロ	有	9/29	55	77.8	29.5	5.8	4.5	78.8	16.7	0	0
	無	10/8	64	74.2	31.2	6.0	5.0	75.1	30.0	6.7	33.3
アスカリ	有	10/6	63	102.2	58.1	6.2	4.0	148.9	0	0	56.7
	無	10/16	71	102.4	56.2	6.4	5.0	136.3	12.5	6.3	75.0

注) 品種名の○印は適品種
奇形花発生株：花蕾数全体の中で、1個でもねじれ等の奇形がみられる株

耕種概要 (平成10年)

- 栽培環境：ガラス温室 (網室)
- 供試球根：7月13日 (種苗会社から凍結球を購入)
- 定植月日：8月4日
- 栽植様式：畦幅110cm、株間15cm (中央30cm)、6条植え (カサブランカのみ株間20cm、4条植え)
- 遮光方法：定植から9月16日まで50%の遮光
- 施肥量 (kg/a)：堆肥450、ようりん25、過磷酸石灰25 (N:P₂O₅:K₂O=1.2:1.2:1.2)